

ガバナー・エレクト 研修セミナー (GETS) に参加して

国際ロータリー 第2660地区

ガバナー・エレクト **岡部 泰鑑**
(大阪城南RC)



地区ガバナーになるためには、その前年度の1月に米国カリフォルニア州サンディエゴ市で、8日間に亘って開催される「国際協議会」への出席が義務づけられています。その協議会をより効果的にするために、前もってそれぞれの国で二度に亘るGETSが開かれる決まりになっています。我が国では34地区から選ばれたガバナー・エレクトの皆さんが、夫婦で招集されました。第1回目は9月8日と9日の2日間、東京のグランドプリンスホテル新高輪で、第2回目は11月25日に地元、大阪のリーガロイヤルホテルにて行われました。

第1回目の研修に先立って、国際ロータリー日本事務局より段ボール1箱(指導資料7冊)が送ってこれ、前もって予備知識を得ておくようにとの事だったのですが、私は研修セミナーにて、この資料をテキストにして研修されるものと思っておりました。研修が始まるや否や、ガバナーの責務・目標設定・会員増強・広報の必要性・ロータリー財団(特に未来の夢計画)・CLP・DLP等、ロータリー活動を全般的に、RIによって指名された研修リーダーが進行係を務め、パワーポイントを使って、講義と設問形式で行われ、34地区を小分けして各セッションごとに部屋を移動、会議開始、9時半より18時まで、息つく暇もないくらいの時間割の2日間。とりわけリーダー役を務められたパスト・ガバナーの諸先輩の情

熱溢れる御指導のもと、ガバナーになるために何が必要かを、徹底的に叩き込まれました。奥様方も、ガバナー夫人としての自覚(ロータリー精神)を理解すべく研修がありました。

第2回目の研修は、ロータリー財団地域セミナー・ロータリー研究会と並行して11月25日、約3時間開催され、サンディエゴでの国際協議会参加への諸注意と質問、国際協議会で「国際交流の夕べ」に披露すべき、奥様方の演目の打ち合わせ。ちなみに沖縄民謡「カチャーシー」です。

2回の国内における研修セミナーを終え、いよいよ本番のサンディエゴでの国際協議会目前です。悶々とした毎日、自分自身の浅学を思い知らされ、ロータリーへの無知さ、私ごときで第2660地区の皆様本当に本役に立てるのだろうか。1年間、皆様の活動の妨げになるのでは。色々な思いが脳裏をかすめます。

しかし、もう泣き言は言っておられません。第2660地区の為に、私の持っている力の全てを出して行くつもりです。どうぞ皆さん、浅学非才の私に、温かいご助力の程を伏してお願いいたします。

この月信が出る頃は、国際協議会での研修を終えていると思います。第2660地区の代表として、一生懸命勉強してまいります。

